

## 会 議 録

会議の名称	令和4年度 第1回図書館運営協議会
開催日時	令和4年9月20日(火) 午後2時～午後3時45分
開催場所	戸田市立中央図書館2階 視聴覚室
委員長等氏名	会長 石川 敬史
出席者氏名 (委員)	会長 石川 敬史 副会長 小林 真喜子 委員 星野 正義 委員 小代 元志 委員 田口 香代子 委員 増渕 洋一郎 委員 大久保 絹子
欠席者氏名(委員)	無
説明のため出席した者	無
傍聴者	無
事務局	教育委員会事務局 部長 山上 睦只 生涯学習課 課課長 高屋 勝利 主幹 本橋 洋 副主幹 宮嶋 朗子 主任 水沼 博之 司書 宮澤 ゆかり
指定管理者	中央図書館長 後藤 有功 上戸田分館長 丸山 怜依

議 題	(1) 令和3年度図書館事業報告 (2) 令和4年度図書館事業計画及び実施事業の報告 (3) 第3次戸田市子どもの読書活動推進計画の報告 (4) その他
会議結果	生涯学習課図書館担当・戸田市立中央図書館及び上戸田分館指定管理者から議題の内容について報告があり、報告事項に対して図書館運営協議会委員から意見を聴取した。
会議の経過	別添のとおり
会議資料	(1) 令和4年度第1回戸田市立図書館運営協議会次第 (2) 戸田市立図書館運営協議会委員名簿 (3) 戸田市立図書館運営協議会事務局名簿・指定管理者出席者名簿 (4) 令和3年度図書館事業報告 (5) 令和4年度図書館事業計画 (6) 第3次戸田市子どもの読書活動推進計画「子どもの読書活動推進のための方策」における各関係課の該当状況（令和3年度実績）
議事録確定	令和4年9月27日  会長氏名 石川 敬史

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>開会</p> <p>定刻となったので、令和4年度第1回図書館運営協議会を開催する。この協議会は、戸田市立図書館の円滑な運営を図るため、戸田市立図書館条例により設置するものである。</p> <p>今回、社会教育関係者として、戸田市社会教育委員会議から新委員の選出をいただいた。任期は、令和4年4月1日より令和6年3月31日である。</p>
教育部長	委嘱状交付
事務局	なお、本日の会議は成立要件となる過半数の出席を満たしている。
教育部長	教育長挨拶（代読）
各委員	委員自己紹介
事務局	事務局自己紹介
指定管理者	指定管理者自己紹介
事務局	<p>次第5の議事に入る。</p> <p>議事の進行については、戸田市立図書館条例施行規則第24条第1項の規定により、会長が務めることとなっているので、石川会長にお願いする。</p>

<p>会長</p>	<p>それでは、これから議事に入るが、本日は傍聴人がいないことを報告する。</p> <p>議事（１）令和３年度事業報告について 指定管理者より説明をお願いします。</p>
<p>中央図書館長</p>	<p>議事（１）令和３年度図書館事業報告について、資料４に基づき説明。</p> <p>戸田市立図書館（中央図書館・下戸田分室・美笹分室・下戸田南分室・戸田公園駅前配本所）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和３年度収支決算書</li> <li>2 施設利用状況報告</li> </ol> <p>利用状況、登録者ともに前年度よりアップしている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3 事業の実施状況       <ol style="list-style-type: none"> <li>（１）児童・保護者向けの事業           <p>ボランティア協力の下、実施し、好評を得ている。</p> <p>託児サービスについては更に宣伝活動を実施し、より多くの利用を促したい。</p> <p>イベント全般、コロナの影響で参加者制限があったため多くの利用者に参加してもらえなかったが、いずれも好評だった。</p> </li> <li>（２）大人向けの事業           <p>ボランティアのためのスキルアップ講座を実施</p> </li> <li>（３）ボランティアとの協働・団体支援           <p>ボランティアの皆さんにアンケートを実施した。</p> </li> <li>（４）テーマ展示           <p>定期的な展示の他、物故者の作品展示や、ウクライナの紛争など社会で話題になっていることをテーマにした短期の展示にも対応している。</p> </li> </ol> </li> </ol>

<p>上戸田分館長</p>	<p>郷土博物館の展示と連動したテーマ展示も積極的に実施</p> <p>4 利用者への対応（トラブルや苦情等）</p> <p>アンケートの結果については、満足度は93%という評価をいただいているが、課題については、解決できるよう努めている。</p> <p>5 職員配置</p> <p>議事（1）令和3年度図書館事業報告について資料4に基づき上戸田分館についての説明。</p> <p>1 令和3年度収支決算書</p> <p>2 施設利用状況報告</p> <p>来館者数、貸出数、新規の利用者登録数については、前年度より増加している。</p> <p>3 事業の実施状況</p> <p>令和2年度はコロナ禍で中止した事業もあったが、令和3年度は定期的を実施することができた。</p> <p>（1）児童・保護者向けの事業</p> <p>おはなし会・映画界等</p> <p>学習支援・図書館利用促進等</p> <p>（2）大人向け事業</p> <p>戸田歴史ガイドの会と共に市内の史跡や自然をめぐる戸田ぶらりウォークの開催、妙頭寺の見学などを実施</p> <p>（3）ボランティアとの協働・団体支援</p> <p>市内小中学校との連携で、POP展示やSDGs展示を実施</p> <p>（4）企画資料展示</p> <p>中央地域包括センターと連携して認知症、老後・介護を考える展示を実施。自身の生活での課題解決に役立ったと高評価</p>
---------------	--

	<p>を得た。</p> <p>上戸田地域交流センターとの連携では、「はやぶさⅡ」の講演にあわせて関連書を展示した。</p> <p>4 利用者への対応（トラブルや苦情等）</p> <p>アンケートについては、昨年度、来館者だけでなくweb上からも実施した。総合結果としては、「満足」「やや満足」が80%以上で、特に接客態度については94%の高評価をいただいた。</p> <p>5 職員配置</p>
会長	令和3年度事業報告について、意見、質問等あればお願いします。
委員	子ども向けのイベントは戸田市在住でなくても参加可能か。
中央図書館長	多くのイベントは、貸出券を提示するなどチェックはしていないので参加は可能である。
委員	市外在住の息子が、自分の子供を連れて戸田市の図書館のイベントに参加したいと考えている。参加可能かを知りたかったので質問した。
中央図書館長	申込みが必要な講座では貸出券の有無を確認している。市外在住でも条件次第で貸出券の発行はできるので、ぜひ、貸出券を作って参加してほしい。
委員	貸出券は持っているので、参加させてもらう。
会長	他に質問がないようなので、私から質問をさせてもらう。まず、託児サービスや託児サービス付きイベントについて、貸出券がなくても利用できるのかを知りたい。
中央図書館長	貸出券を持っている市内在住者に限定している。託児サービスについては、基本的には前日までの予約申込制で実施しているが、100%埋まることがないため、当日受付も実施し、利用を促してい

<p>会長</p>	<p>る。</p> <p>もう1点、報告書に記載されている令和3年度収支決算書の「費目」内にある「本社経費」と令和4年度収支予算書の「科目」内にある「事務経費」は、同一の項目と解釈してよいか知りたい。同一であれば項目名を統一した方が良いが、決まりがあつてのことなのか確認したい。</p>
<p>中央図書館長</p>	<p>「本社経費」も「事務経費」も内容は同じなので、今後は名称を統一する。</p>
<p>会長</p>	<p>質問がなければ、議事（1）については、以上とする。</p> <p>次に、議事（2）令和4年度図書館事業計画について、指定管理者より説明をお願いします。</p>
<p>中央図書館長</p>	<p>議事（2）令和4年度図書館事業計画について、資料5に基づき説明</p> <p>今年から始めた事業「戸田市デジタルアーカイブ」については、気軽に郷土の歴史や文化に触れてもらうため作成した。今年の夏休みには、これらを活用して地域のことを調べる自由研究に臨んだ小学生もいたと報告を受けている。</p> <p>図書館を使った調べる学習コンクールについては、教育委員会のバックアップを受け新規事業として実施、現在、応募作品を募集している。この事業は、「疑問に思ったことを調べる」という習慣を身に着けることができるので非常に有意義だと考えている。</p> <p>電子図書館サービスについては、蔵書増加に取り組んでいる。</p> <p>SNSでは教育委員会のFacebookを活用して、図書館のイベントの告知や取り組みについて情報公開している。デジタルサイネージでは来館者への図書館の取り組みをタイムリーに伝えられるよう積極的に活用している。</p> <p>講座開催、企画・イベントについては、より充実した内容にする</p>

<p>上戸田分館長</p>	<p>べく取り組んでいる。</p> <p>緑化運動では、プランターを設置してグリーン化を進める予定。</p> <p>事業以外については、昨年度まではコロナ禍で自社研修の機会がとれなかったが、今年度は全体研修や全体会議も復活させている。</p> <p>議事（２）令和４年度図書館事業計画について、資料５に基づき上戸田分館より説明</p> <p>昨年度、利用の少なかったイベントについては、開催日の見直しを行った。日程の移動に伴い、新たに上戸田地域交流センターのキッズスペースで希望者にミニお話し会を開催する事業を追加した。</p> <p>企画展示では、国立がん研究センターの巡回展を開催予定、また、巡回展と連動して、福祉保健センターと連携し、出前講座を予定している。</p> <p>学習支援事業では、今年度、鶴見大学よりインターシップ生の受入を行った。</p> <p>事業計画書には掲載できなかったが、行政書士の方と知り合うきっかけがあり、別途配布資料のとおり「○△□のひみつ」という小学校低学年向けの法セミナーを開催した。これは、リサイクルマークについて学びながら環境に関する意識啓発を促すという講座で、参加した保護者からは、リサイクルに対して親子で考えるきっかけになったという感想をもらうなど好評だった。講師の先生との関係は今後も継続していく予定</p>
<p>会長</p>	<p>令和４年度事業計画について、意見、質問等あればお願いします。</p>
<p>副会長</p>	<p>本日配布されたデジタルアーカイブの案内チラシが、いつ頃、配布されたのか知りたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>デジタルアーカイブについては小中学生に役立つ情報を発信しているため、デジタル化したチラシを、８月に学校を通して市内小中</p>

副会長	<p>学校の保護者宛てにメール送信した。同時に、このチラシは電子図書館の利用を促す目的もあったが、送信直後の電子図書館のアクセス数に増加傾向が見られ、一定の効果があったと考えられる。</p> <p>学校で読み聞かせのボランティアをしているため、市内の学校に行く機会が多い。このチラシが校内に掲示されていれば良い周知となるが、目にした記憶がないので、いつ頃、発行したのか気になった。</p> <p>更に、ブックスタートで手渡す絵本は、1年ごとに変えているのか知りたい。</p>
中央図書館長 副会長	<p>1年ごとに変えている。</p> <p>その情報は読み聞かせのボランティアにも共有してもらうことは可能か。配布している絵本がわかれば、それを読んであげることもしできる。</p>
中央図書館長 委員	<p>今後は情報共有する。</p> <p>デジタルアーカイブに興味を持った。歴史が好きなので、大河ドラマを見ていても、この時代の戸田はどうだったのかという疑問を持つことがある。特にNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」は県内ゆかりの人物がいるため大変盛り上がっている。私のような者は多いと思うので、デジタルアーカイブでも旬の話題をテーマにコンテンツを作成すれば、多くの人が興味を持つのではないかと感じた。</p>
中央図書館長 会長	<p>デジタルアーカイブについては、郷土博物館と連携して取り組んでいる事業なので、今回の意見は郷土博物館と相談し、検討したい。</p> <p>図書館から一方的にコンテンツを提供するだけでなく、話題のテーマと関連付けるなどして、電子資料のコンテンツに付加価値をつけて提供することは大事である。私の周囲でも大河ドラマは盛り上がっている所以、このブームにのってコンテンツを提供するのも良い案だと思う。</p>

委員	私は時代小説が好きで、「戸田の渡し」や「戸田の鷹場」など、作品の中で戸田の地名を目にすることもある。戸田の渡しや鷹場などは、関連する古文書が残っているので、古文書の読み方を学びながら戸田の歴史を知る講座があれば参加したいと思う。また、浅間山の大噴火の際に、荒川を伝って死体が流れてきたという話を聞いたことがあり、当時の戸田の様子などを知りたいと思った。私の周囲でも地域の歴史に興味のある人は多いので検討してほしい。
中央図書館長	郷土資料を活用した講座は、現在でも実施しているので、今後、提案のあったテーマについて実施できるよう検討させてもらう。
会長	大学の講義でも和本やくずし字を読む授業は人気が高い。現在は、くずし字をデジタルの技術で読むこともできる。生の史料とデジタルで読む史料と地域の歴史の発掘とを組み合わせると新しい講座を作り上げていくのはどうか。
委員	そういった講座が開催される際の告知はどのように行うか知りたい。
中央図書館長	広報、図書館のホームページで告知する。
会長	私から利用者アンケートについて提案がある。統計的な手法だけではなく、図書館をよく使っている人に座談会などを開催してヒアリング調査してはどうか。統計的な手法で多くの意見を収集すれば信頼性のある結果が得られるが、図書館に思い入れのある人に、深いところまで話を聞くのも大切である。
中央図書館長	図書館ビジョン作成前に、ボランティアにアンケートをとり、意見を聞かせてもらった。また、今年度から、ボランティア連絡会を開催し、そこでも意見交換ができた。今後も継続していきたい。また、児童イベントのボランティア団体には3か月に1度のリーダー会議の場で定期的にヒアリングを行っている。
会長	良い取り組みなので、今後も継続してもらいたい。

中央図書館長	アンケートに関しては、非来館者の意見も聞きたいところだが、昨年度末に実施したwebアンケートでは思うような成果が得られなかったので、今後、検討課題としたい。
会長	もう1点、図書館で開催している講座において、講師を外部の専門家に依頼しているものと、スタッフで実施しているものがあるが、講座の担い手についての切り分けはどうしているのか。これ以外に、市民に登壇してもらうような講座の開催を提案したい。
中央図書館長	調べ学習関連の講座を例にとると、調べ学習コンクール全体についての講座は外部の専門家に依頼したが、図書館の資料を使うような講座は、スタッフの手作りで実施している。
上戸田分館	<p>行政書士の先生を招いて実施した講座については、講師と知りあった折に、先方が戸田市民に法について学ぶ機会を与えたいと希望していたことから、講座に結びつけたという経緯がある。上戸田分館では線引きをどこにするかではなく、業務の中で知り合った人が何を求めているのかを聞き取り、講座の事業計画を立てている。</p> <p>また、「戸田ぶらりウォーク」では市民ボランティア「戸田歴史ガイドの会」に講師をお願いしている。スタッフよりも戸田市に関する知識が豊富なので、毎回、講師をお願いしている。</p>
会長	<p>図書館は市民のためのもので、そこにある蔵書も市民のためにある。また、図書館が主催する講座においても、戸田市在住者で専門の知識を持っている人に登壇してもらえば、市民との距離が近くなり、共に学びあう関係性が構築できるのではないかと思う。</p> <p>他に質問がなければ、議事（2）については、以上とする。</p> <p>次に、議事（3）第3次戸田市子どもの読書活動推進計画の報告について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	議事（3）第3次戸田市子どもの読書活動推進計画の報告について

<p>会長</p>	<p>て、資料6に基づき説明</p> <p>第3次戸田市子どもの読書活動推進計画の報告について、意見、質問等あればお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>ここまでを振り返り、意見、質問等あればあわせてお願いします。</p>
<p>中央図書館長</p>	<p>図書館探検ツアーとはどのようなイベントか知りたい。</p> <p>子供向けに、閉架書庫、事務室等、平素、図書館利用者からは見えないバックヤードを、クイズ等を盛り込みながら見学してもらうイベントである。図書館の仕事に対して理解を深めてもらう目的で実施している。</p>
<p>委員</p>	<p>興味がある。大人の私も参加してみたい。</p>
<p>中央図書館</p>	<p>来年、40周年を迎え、様々なイベントを企画している最中なので、提案してみる。</p>
<p>会長</p>	<p>子供たちには、いろいろな資料に触れてほしい。図書館は書店と違い、過去の記録が保存されている場所なので古い新聞の記事も目にする事ができる。例えば、自分が生まれた日の新聞を見せると、こんなものまであるという気づきに繋がる。イベントを通して、子供たちに図書館を知ってもらうのは面白い取り組みだと思う。</p> <p>子どもの読書活動を推進する上で学校図書館の位置づけは重要だと考える。GIGAスクール構想で、児童、生徒にタブレット端末を配布しているため、学校では情報へのアクセス方法やタブレットの活用方法を指導していく必要が生じている。また、主権者教育を背景に学校図書館の役割も変化している。図書館では、学校教育において日々利用するコンテンツを把握し、連携を進めていくことが重要。今後、学校図書館とは、どのような連携を考えているのか聞きたい。</p>
<p>中央図書館長</p>	<p>現在、学校との連携については、まず、学校への団体貸出を行っている。学校からの求めに応じて、必要な図書を貸出し、調べ学習の授業で図書館の図書を活用してもらっている。</p>

<p>会長</p>	<p>学校向けの出前講座も実施。ブックトーク、図鑑や百科事典の使い方、NDC（日本十進分類法）活用法、図書館の見学を兼ねた図書館活用法などのメニューを用意し、実施している。参加校の中には、支援教室、不登校教室なども含まれる。学校に配置している本好きサポーターさんに対する研修もリモートで実施した。</p> <p>このように、今年は、学校側と情報交換できる環境を作り、ネットワークを構築することに注力している。</p> <p>一人一台配布されたタブレットを活用した調べ学習をバックアップできるよう、図書館でWi-Fi環境を提供するなど、様々な面で連携してもらいたい。</p> <p>また、戸田市内での小中高生世代、特に読書離れが問題となっている中高生への支援として、図書館と、高校も含めた各学校を繋ぐ物流システムを作れないか。実現できれば、学校の先生に対して、授業の教材を整えていく支援にもつながる。</p> <p>中高生への支援で何か実施したことがあれば聞かせてほしい。</p>
<p>中央図書館</p>	<p>今年度は、戸田翔陽高校の先生に文学講座の講師を依頼し、つながりを深めた。</p>
<p>上戸田分館長 会長</p>	<p>今年度から、時間限定だがグループ学習室を高校生にも開放した。</p> <p>子どもの読書活動推進計画について、他に意見、質問があればお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>幼稚園の園長をしている。報告では保育園への本の貸出と書いてあるが、幼稚園の記載がない。幼稚園への貸し出しも実施しているのか知りたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>図書館には団体貸出という制度があり、市内の団体に本の貸出をしている。また、市内の社会教育団体へは上映権のついた映像資料の貸出も実施している。保育園だけでなく幼稚園でも利用されている。周知が行き届いていなかったようなので、今後は関係団体に周</p>

委員	<p>知する。</p> <p>幼稚園では本を購入した際、ブックコートをかけているが、それを図書館でやってもらうことはできるか。</p>
中央図書館長	<p>本好きサポーターさんに対する研修では、本の修理方法とブックコートかけの技術を伝えた。同様の講座で、先生方に技術を教えることはできるが、かけるサービスはしていない。</p>
会長	<p>図書館は、団体貸出、本の購入に関すること、絵本の選書方法など市内の幼稚園、保育園にも支援を継続してほしい。</p>
副会長	<p>学校で読み聞かせを行っている。図書館にない本が学校にある場合、市内で物流があれば借りられるのと思うことがある。</p>
会長	<p>図書館と学校の垣根を超えたつながりがあると良い。</p>
委員	<p>市外に住んでいる。戸田市の図書館は講座の数も多く、非常に充実しているという印象がある。</p>
会長	<p>良い取り組みについては、今後も継続をお願いしたい。</p> <p>次に、議事（４）その他についてですが、ここからの進行については事務局にお返しする。</p>
事務局	<p>図書館協議会の結果については、ホームページで公開する。</p> <p>第２回図書館運営協議会は、令和５年２月を予定している。</p> <p>以上で令和４年度第１回図書館運営協議会を閉会とする。</p> <p>議事終了</p> <p>閉会 午後３時４５分</p>